

職員用アンケート

事業者向け 放課後等デイサービス（重心）自己評価表

令和元年度
いちばん星happiness
&kirahapi

(%)

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------|--|--|----|-----------|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 0 | 50 | 44 | その日の人数や年齢に応じて工夫している。日によっては狭く感じる。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 31 | 38 | 19 | 男性職員や体力のあるスタッフが欲しい |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 31 | 31 | 31 | 入り口が狭いと思う。トイレと倉庫は改善が必要。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか | 63 | 19 | 0 | 兼任が多いが時間を工夫している |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 56 | 19 | 0 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 63 | 13 | 0 | |
| | 7 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 94 | 6 | 0 | 月に一回の研修と事業所外の研修案内も広報されている。研修があるのがうれしい。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 63 | 25 | 0 | |
| | 9 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 50 | 31 | 0 | |
| | 10 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 75 | 19 | 0 | ミーティングや会議で話し合っている |
| | 11 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 81 | 13 | 0 | 年齢や発達の違い、季節なども考慮している |
| | 12 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 69 | 25 | 0 | 時間が取れるときは社会経験を導入することが多い |
| | 13 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 94 | 6 | 0 | |
| | 14 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 94 | 6 | 0 | 利用児にスタッフを選ばせることもある |
| | 15 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 44 | 50 | 6 | 送迎があるため難しいがミーティングで前日の振り返りを行っている |
| | 16 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 75 | 25 | 0 | |
| | 17 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 88 | 19 | 0 | |
| 18 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 50 | 25 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 94 | 6 | 0 | 調整して参加している |
| | 20 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 81 | 13 | 0 | 携帯電話などを利用して伝え忘れのないようにしている |
| | 21 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 38 | 50 | 0 | 主治医とは連絡が難しいが、訪看や保護者と連絡確認しあっている |
| | 22 | 就学前に利用していた児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 81 | 13 | 0 | いちばん星内では引継ぎをしている |
| | 23 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 63 | 19 | 0 | |
| | 24 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 88 | 6 | 0 | |

| | | | | | | |
|------------|-------------------------------------|---|-----|----|----|---|
| 携 | 25 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 44 | 44 | |
| | 26 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 25 | 31 | 19 | |
| | 27 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 94 | 0 | 0 | 連絡帳やLINEで報告し年間としては支援計画を使用している。送迎時にコミュニケーションを取るようになっている。 |
| | 28 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 13 | 69 | 0 | |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 重要事項説明、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 81 | 6 | 0 | |
| | 30 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 88 | 6 | 0 | |
| | 31 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 81 | 6 | 6 | 交流会をするなど機会を作っている |
| | 32 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 94 | 0 | 0 | |
| | 33 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100 | 0 | 0 | おたよりの作成あり |
| | 34 | 個人情報に十分注意しているか | 88 | 6 | 0 | |
| | 35 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 88 | 13 | 0 | |
| 36 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 25 | 50 | 13 | | |
| 非常時等の対応 | 37 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 56 | 31 | 0 | |
| | 38 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 94 | 6 | 0 | 実際に子どもたちと避難訓練をした |
| | 39 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 63 | 25 | 0 | |
| | 40 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 44 | 19 | 6 | |
| | 41 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 69 | 19 | 6 | 食物アレルギーの確認表あり |
| | 42 | ヒヤリハット報告内容は、事業所内で共有し、次の事故を未然に防ぐよう努力しているか | 100 | 0 | 0 | |